
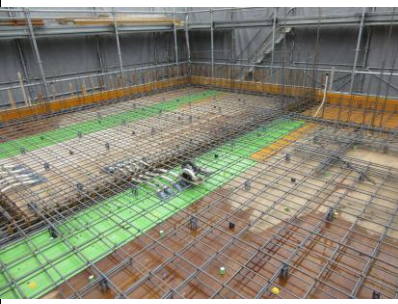


現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月12日	
NO	61
場所	B X 1 通り
部位	3階床梁 (G 1)
梁側面の鉄筋かぶり厚さ (30mm以上) が確保される状況であることを確認。	




令和5年6月12日	
NO	62
場所	B X 2 通り
部位	3階床梁 (G 2 A)
計画通りの配筋組であることを確認。 (上下主筋 : 2/2 - D19)	

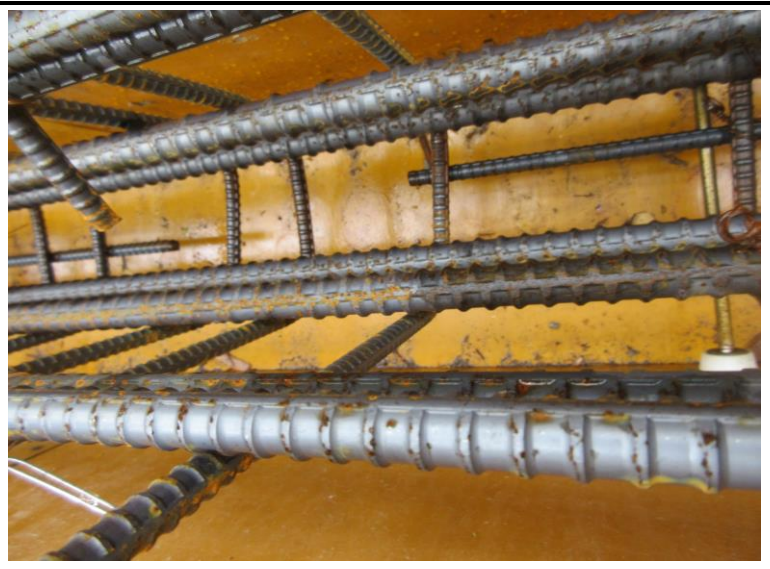



令和5年6月12日	
NO	63
場所	B X 2 通り
部位	3階床梁 (G 2 A)
同上。	

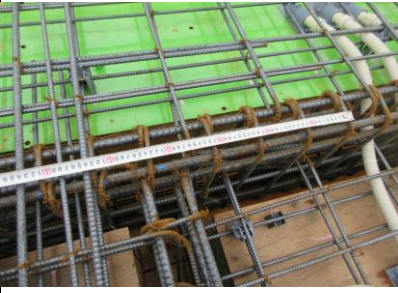
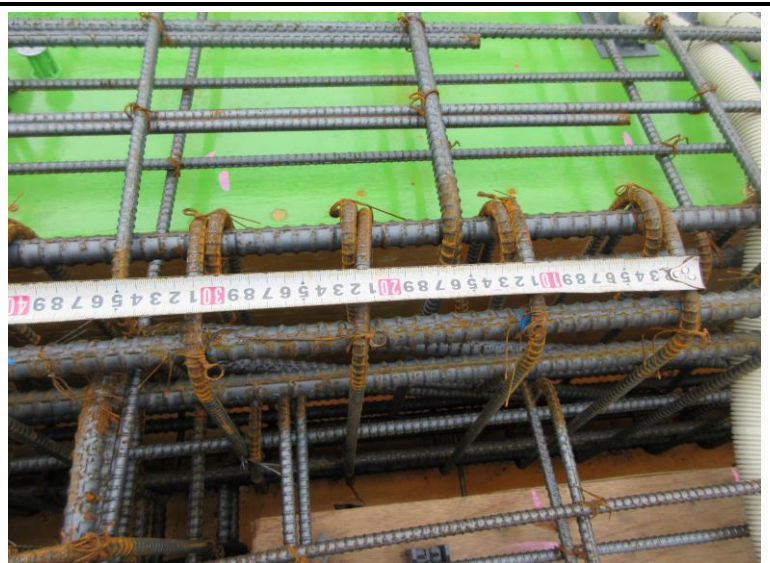



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月12日	
NO	64
場所	B X 2 通り
部位	3階床梁 (G 2 A)
同上。	

令和5年6月12日	
NO	65
場所	B X 2 通り
部位	3階床梁 (G 2 A)
計画通りの配筋組であることを確認。 (せん断補強筋 : D10@100mm)	

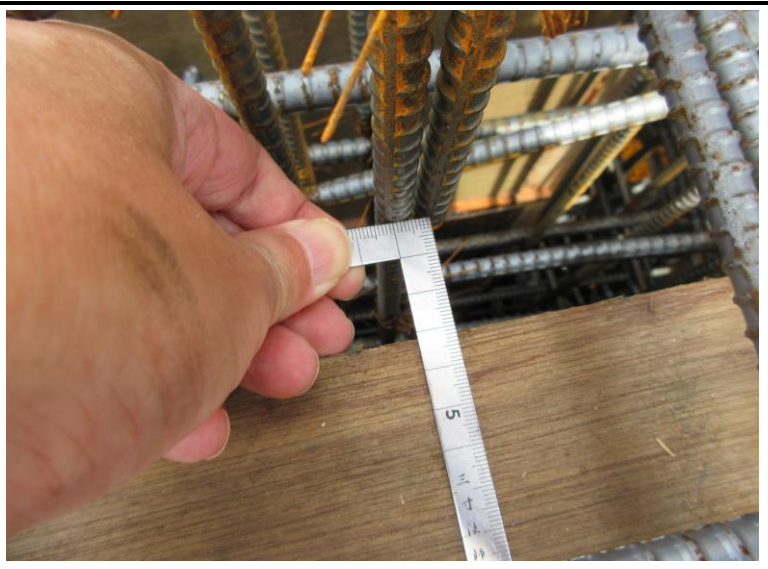



令和5年6月12日	
NO	66
場所	B X 2 通り
部位	3階床梁 (G 2 A)
隣り合う圧接継手の位置は、計画通りの 離隔距離の確保 (a ≥ 400mm以上) が行 われていることを確認。	





現況検査により認められる状況の記録

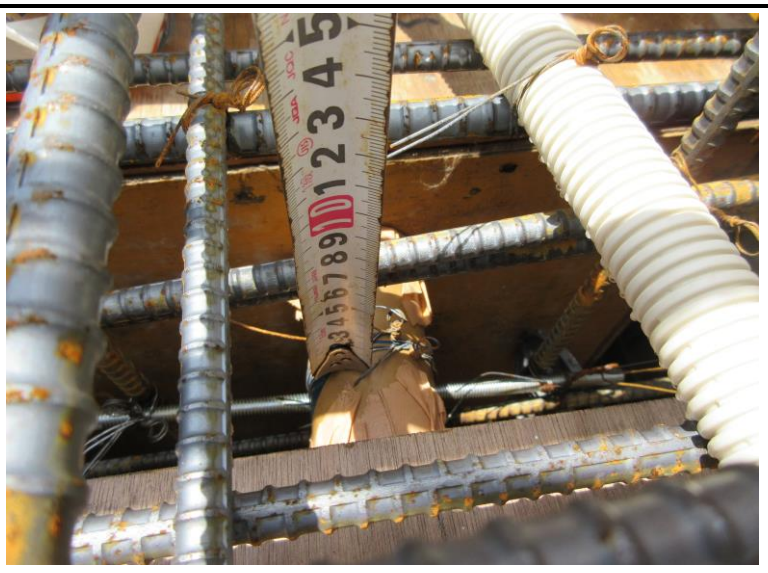
令和5年6月12日	
NO	67
場所	B X 2 通り
部位	3階床梁 (G0)
G0梁のせん断補強筋側面部分に鉄筋かぶり厚さが不足している箇所があることを指摘。写真は、是正後の状況写真。	

令和5年6月12日	
NO	68
場所	W1 2 (非耐力壁)
部位	スリーブ貫通部
W12の壁貫通スリーブ (50φ) 廻りに鉄筋かぶり厚さが不足している箇所があることを指摘。	




令和5年6月12日	
NO	69
場所	W1 2 (非耐力壁)
部位	スリーブ貫通部
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	

現況検査により認められる状況の記録


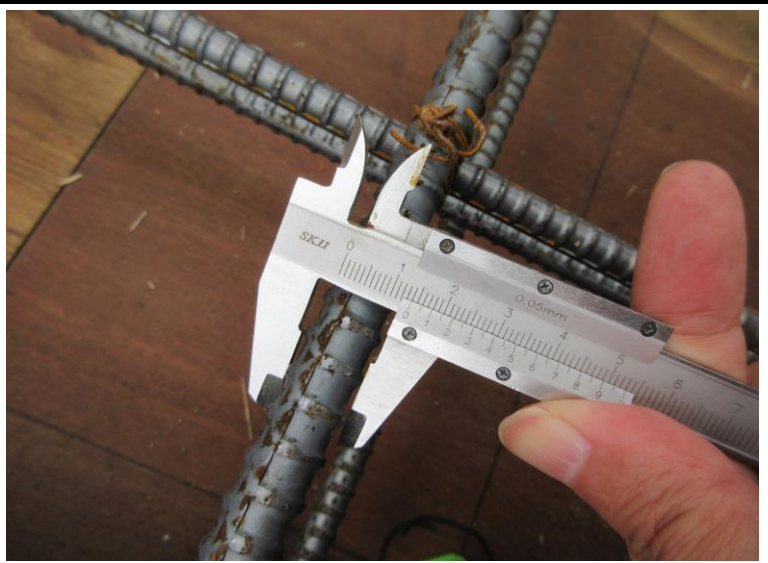
令和5年6月12日	
NO	70
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)

計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)



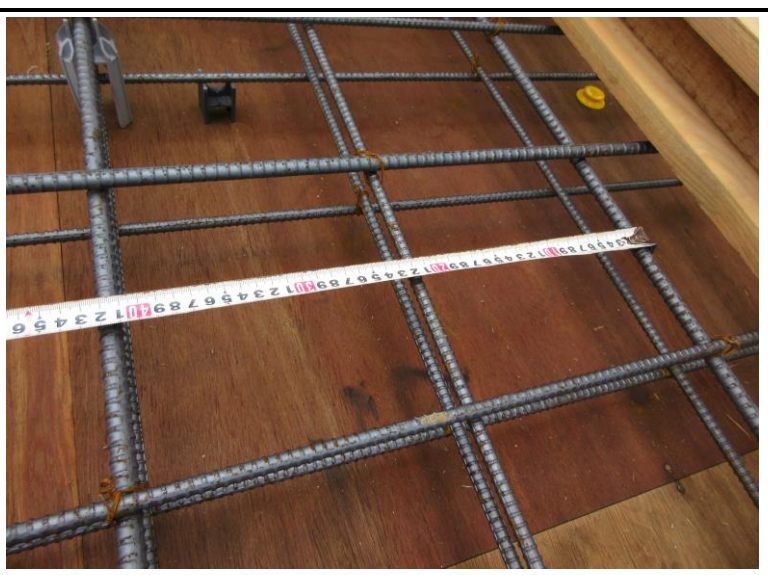

令和5年6月12日	
NO	71
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)

同上。

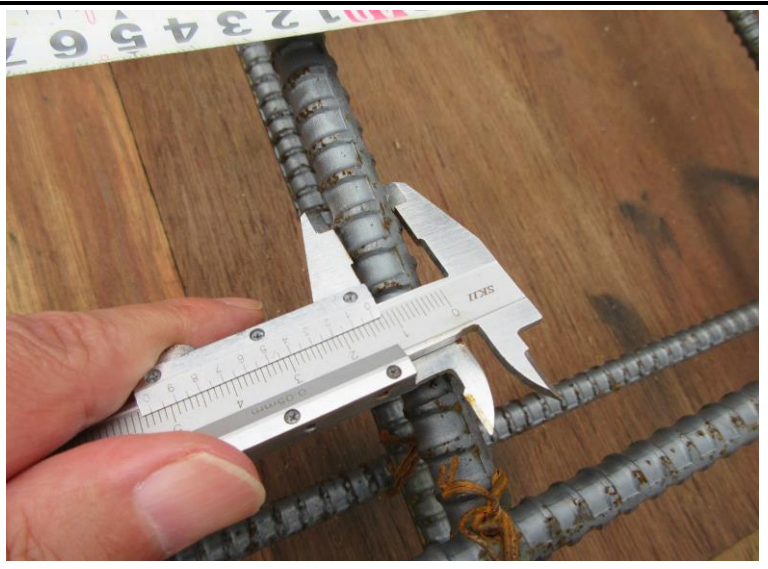
令和5年6月12日	
NO	72
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)

同上。

現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月12日	
NO	73
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
同上。	


令和5年6月12日	
NO	74
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
スラブ上下面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されるようスペーサーが設置されていることを確認。	





令和5年6月12日	
NO	75
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
スラブ上端筋の梁への定着長さ (L2 : D10 × 35 = 350mm以上) が確保されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

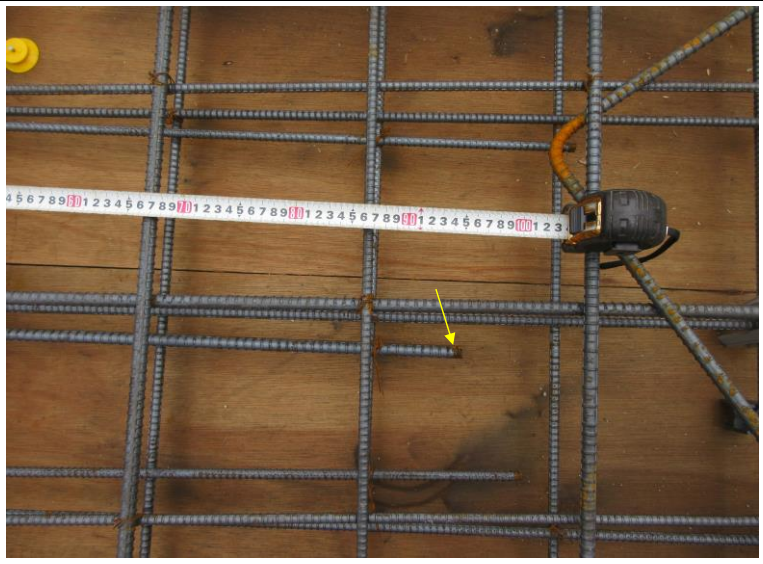
令和5年6月12日	
NO	76
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
スラブ下端筋の梁への定着長さ (L3 : D10×10、且つ150mm以上) が確保されていることを確認。	
	



令和5年6月12日	
NO	77
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
段差スラブ部の幅 (2D=スラブ厚さ×2=300mm) が確保されていることを確認。	
	



令和5年6月12日	
NO	78
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
段差スラブ部の定着長さ (L1 : D13×40=520mm) が確保されていることを確認。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月12日	
NO	79
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)

段差スラブ部の補強筋 (D13×2箇所) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。



令和5年6月12日	
NO	80
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)

段差部の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保される状況であることを確認。




令和5年6月12日	
NO	81
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)

スラブ面 (トイレのPS) のスリーブ貫通部廻りに鉄筋かぶり厚さが不足している箇所があることを指摘。



現況検査により認められる状況の記録

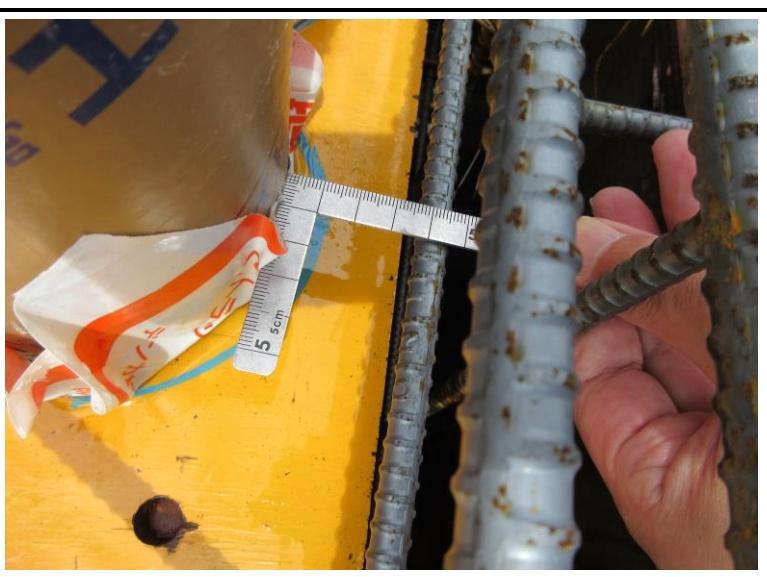
令和5年6月12日	
NO	82
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	




令和5年6月12日	
NO	83
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
スラブ面 (MB内) のスリーブ貫通部廻りに鉄筋かぶり厚さが不足している箇所があることを指摘。	

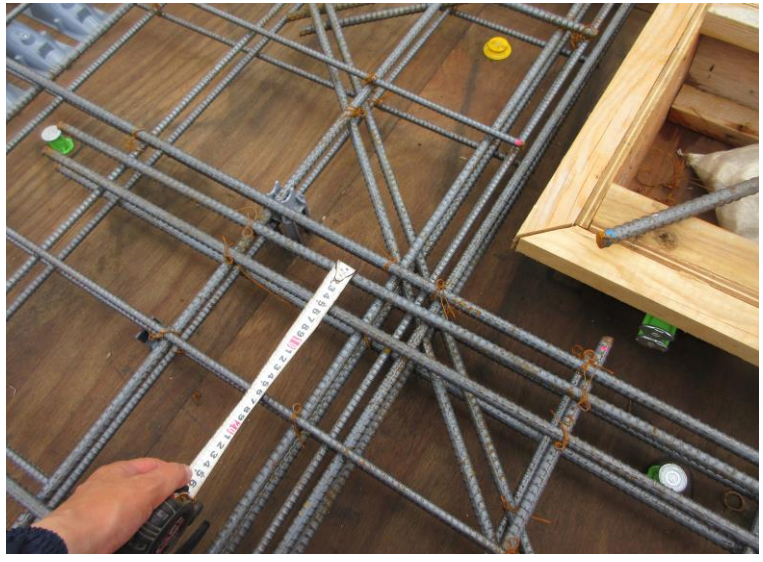



令和5年6月12日	
NO	84
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	

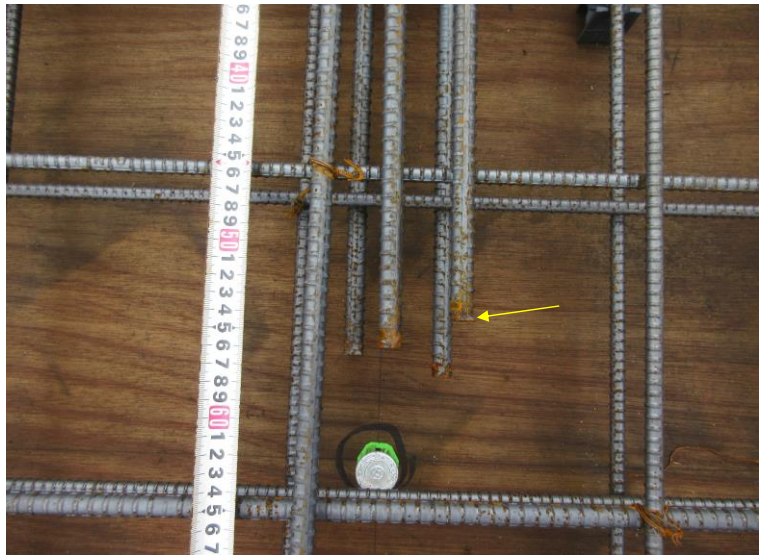



現況検査により認められる状況の記録

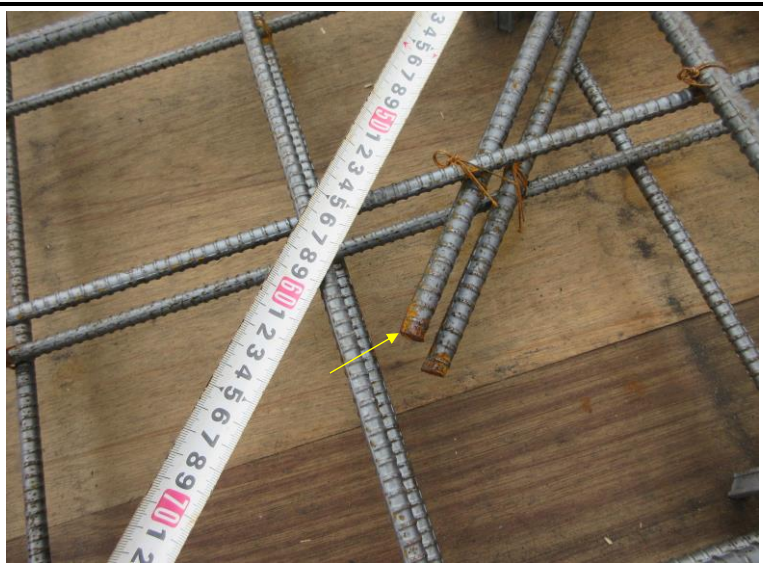
令和5年6月12日	
NO	85
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
ダマ穴開口補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。(開口廻りの縦横：上筋2-D13、下筋2-D13)	
	



令和5年6月12日	
NO	86
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
同上。余長部の定着長さ (L1 : D13×40 d = 520mm) が確保されていることを確認。	
	

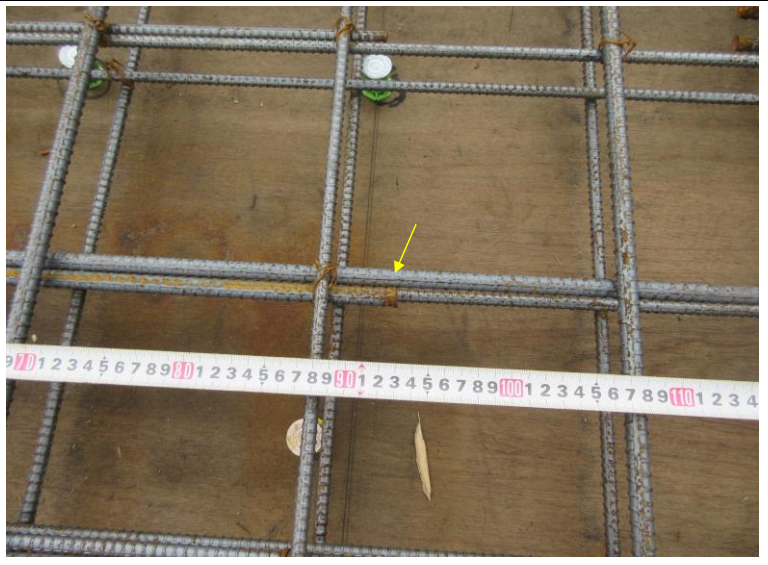
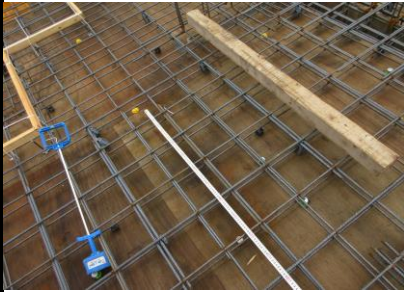


令和5年6月12日	
NO	87
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
同上。(開口廻りの斜筋：上筋1-D13、下筋1-D13) また、余長部の定着長さ (L1 : D13×40 d = 520mm) が確保されていることを確認。	
	

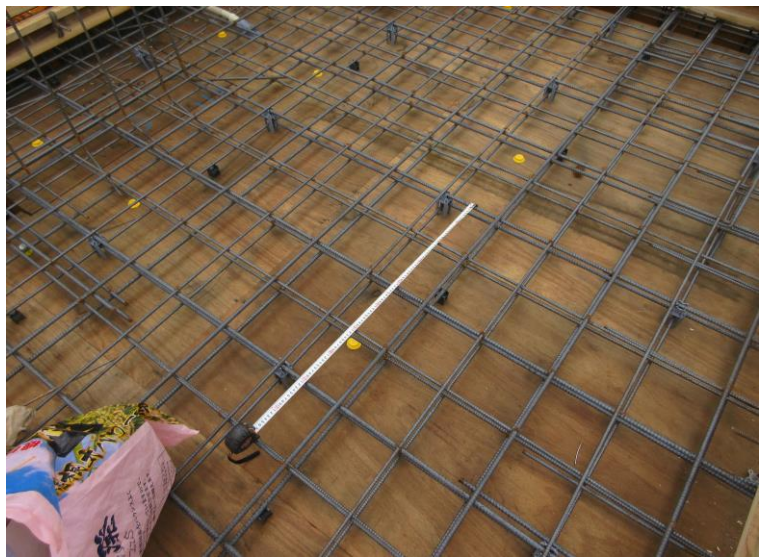


現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月12日	
NO	88
場所	B棟
部位	床スラブ (S3)
重ね継手長さ (L1 : D13×40 d =520mm) が十分確保されていることを確認。	



令和5年6月12日	
NO	89
場所	B棟
部位	床スラブ (S4)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。D10・D13@200mmチドリ (上下・縦横共)	



令和5年6月12日	
NO	90
場所	B棟
部位	床スラブ (S4)
同上。	

